

平成 19 年度採択 文部科学省 大学院教育改革支援プログラム (大学院 GP、平成 19~21 年度)
「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成 (JCS)」の活動報告

教育事業部リサーチフェロー 野田 有紀子

お茶の水女子大学は日本における「国際日本学研究」の最も重要な拠点の一つである。平成 17 年度採択「魅力ある大学院教育イニシアティブ」(文部科学省)「<対話と深化>の次世代女性リーダーの育成」(平成 17~18 年度)では、海外提携大学との協力による国際日本学シンポジウムや共同ゼミを始めとする多くの教育的実績を挙げた。これらの実績を踏まえ、国際日本学の研究と教育を更に拡張・発展させていくことがこのプログラムの意図である。

(A) JCS の目的と活動について

(<http://www.dc.ocha.ac.jp/dics-jacs/index.htm>)

【目的】

本プログラムは、人文社会系で高度な研究資質を持つ大学院生の国際的コミュニケーション能力を練磨することによって、日本の文化(及び、それを対象とする研究成果)を効果的に発信しつつ、グローバル化する世界の多様な分野でリーダーシップを発揮し得る優れた人材の養成を目指す。この目的を達成するために、以下の 3 点を、本教育プログラムの柱とする。

- ① 日本文化についての理解 ……副専攻「日本文化論」
- ② 情報伝達スキルの練磨 ……「日本文化研究コーパス」作成実習
- ③ 国際的な現場での教育 ……ジョイントゼミ、国際シンポジウム、海外インターンシップ、アカデミック・ディスカッション



【平成 19 年度 JCS の活動事業スケジュール】 (2007 年 10 月~)

(1) ジョイントゼミ

2007 年 10 月 19~24 日	日中韓 3 か国合同ジョイントゼミ	於・北京日本学研究中心 (中国・北京市)
2008 年 01 月 08 日	台湾大学との第 2 回ジョイントゼミ 【TV 会議】	於・本学人間文化創成科学研究科棟 5 階 SCS 室 (視聴覚室)
2008 年 01 月 14~15 日	フランス共同ゼミ 「パリ・ディドロ (第 7) 大学とお茶の水女子大学：日本学の新たな構築の試み」	於・パリ・ディドロ (第 7) 大学、フランス国立高等研究院 (ソルボンヌ大学内)、コレージュ・ド・フランス日本学高等研究所 (以上、パリ市)
2008 年 02 月 19~23 日	台湾大学との共同ゼミ	於・台湾大学 (台湾・台北市)

(2) 学生海外調査研究

2007 年 10 月 09 日	募集開始	期 間	5 日間~3 週間
2007 年 10 月 25 日	応募締切 (応募総数 28 名)	補助金額	15 万~30 万円
2007 年 10 月 26 日	採択者発表 (20 名)	渡航先	韓国、中国、タイ、モンゴル、エジプト、アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、スイス、オランダ
2007 年 10 月 31 日	会計説明会開催。		

**(3) 第 2 回国際日本学コンソーシアム
「日本学研究の現在と未来：国際的・学際的なネットワークの構築と活用」**

日 時	2007 年 12 月 17-19 日
参加校 (8 大学)	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 SOAS (英国)、国立台湾大学 (台湾)、カレル大学 (チェコ)、淑明女子大学校 (韓国)、同徳女子大学校 (韓国)、北京外国語大学日本学研究中心 (中国)、パデュー大学 (米国)、お茶の水女子大学 (日本)

コンソーシアムの課題

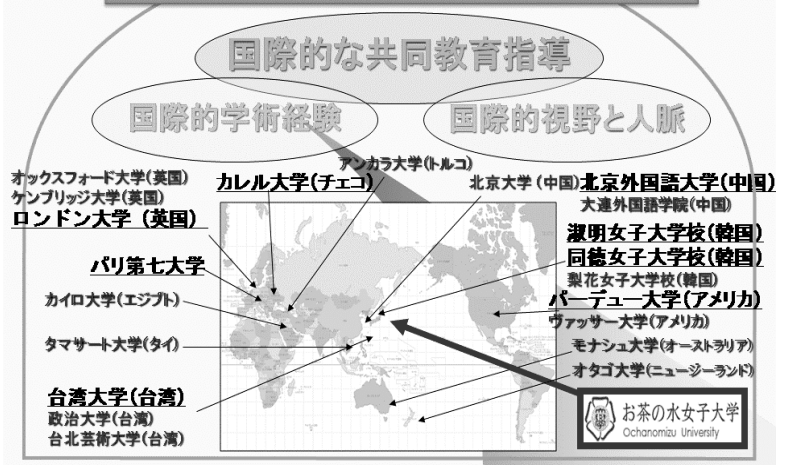
※ **現在** 教員間のネットワーク
↓
将来 大学院生同士のネットワークへ

※アメリカは「日本語」教育機関のみ。
今後は「**日本文化**」研究機関との
提携が必要。

※「日本語教育」と「日本文化研究」とで
統一テーマを設けられないか。

※アカデミック・ディスカッション、
海外インターンシップでの利用。

国際日本学コンソーシアム・海外提携大学



(4) 公開講演会				
日時	タイトル	テーマ	講演者	会場
2008年 1月23日(水)	第1回	グローバル時代における海外での日本文学の教え方 —総合的日本語教育の実践に向けた一案—	ドラージュ・土屋浩美 (米国・ヴァッサー大学助教授)	SCS 室 (TV会議システム)
2008年 1月29日(火)	第2回	21世紀における 日本語教育の新しい傾向	鄭起永 (韓国・釜山外国語大学校日本語大学学長)	SCS 室 (TV会議システム)
2008年 2月15日(金)	第3回	武士道と儒教	徐翔生 (台湾・国立政治大学専任助教授・本学客員研究員)	文教1号館 8階803室
2008年 3月1日(土)	第4回	韓国内での日本史研究の概況 —前近代史を中心に—	丁珍妮 (韓国・日韓歴史共同委員会専門委員)	文教1号館 8階817室

※平成 20 年度開始事業

副専攻「日本文化論」、「日本文化研究コーパス」作成実習、海外インターンシップ、アカデミック・ディスカッション

(B) 世界における「日本学」動向調査

※中国・韓国・台湾ほか…… 実学としての「日本語」学習が中心。「日本文化」は近代～最近流行のものに関心。
※フランス・イギリスほか…… “オリエンタ学” のひとつとしての「日本文化」研究が盛ん。中国+日本+α。
文物や資料に関心・興味。資料も原文で読解して研究する。

(※アメリカ……実学中心。現在の提携校は「日本語」教育機関のみ。今後は「日本文化」研究機関との提携が必要)

本年度の研究業績一覧

① 論文

- 「唐代宮人に関する一考察—日唐後宮比較研究にむけて—」(『総合女性史研究』25号、2008年3月)
- 「大唐元陵儀注試釈(八)」(『國學院大學大学院紀要 文学研究科』39号、2008年3月)
- 「唐代宮人の相關考察—日唐後宮的比較研究—」(『遣隋使 1400 周年記念国際シンポジウム「東アジア文化交流の源流」記念論文集』、2008年3月)
- 「平安貴族社会における扇と社会的関係」(『大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」平成19年度活動報告書海外研修事業編』2008年3月)
- 「平安貴族社会における祭装束の分配と作製」(『同』シンポジウム編、2008年3月)

② 口頭報告

- 「唐代宮人に関する一考察—日唐後宮比較研究にむけて—」
(遣隋使・遣唐使 1400 周年記念国際シンポジウム「中日文化交流の源流」、於中国・杭州・浙江工商大学日本文化研究所、2007年9月)
- 「平安貴族社会における祭装束の分配と作製」
(第2回国際日本学コンソーシアム「日本学研究的現在と未来: 国際的・学際的なネットワークの構築と活用」第2分科「日本文学・日本文化」、於お茶の水女子大学、2007年12月)
- 「平安貴族社会における扇と社会的関係」
(フランス共同ゼミ「パリ・デイドロ(第7)大学とお茶の水女子大学: 日本学の新たな構築の試み」、於フランス・パリ、コレージュ・ド・フランス日本学高等研究所、2008年1月)